

整理番号 2018M-013
補助事業名 平成30年度 国際シンポジウム・ダイアログ推進補助事業
補助事業者名 一般財団法人国際経済交流財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

アジア太平洋地域は、世界経済の成長エンジンとなりつつあるが、潜在成長力が高い割に成長鈍化が懸念されている。本事業は、当地域において、ビジネスを展開する日本の機械工業にとってのメリットでもある自由貿易や経済統合を推進し、持続的可能な経済成長に資するとともに喫緊の課題である「中所得国の罠」や「高齢化」といった構造的な問題の克服に寄与することを目的とする。そのため、公開シンポジウムを通じて開催地の政府関係者、ビジネスパーソン、研究者、メディア関係者に自由貿易、経済統合の重要性を理解してもらうと同時に、そのための議論を通じて有識専門家間の共通認識を深め、各国政府の政策形成において影響力を発揮し、反映していただく。また、日本の若手研究者の育成を目的にオブザーバーとして1名招聘し、海外の有識専門家との交流の機会を提供、今後の研究を支援する。

(2) 実施内容

アジア太平洋地域シンポジウム (<https://www.jef.or.jp/forum/asia/>) を開催するため、インドのシンクタンクであるResearch and Information System for Developing Countries (RIS) との共催で11月22日(木)～23日(金) ニューデリーにおいて、公開シンポジウム、および非公開ラウンドテーブル・ディスカッションを実施した。日本、インド、アジア太平洋地域の国・地域から総勢20名有識専門家が参加し、メインテーマ「世界貿易体制と多国間主義の役割の保護」のもと、セッション1：貿易と新たな技術、セッション2：地域統合に向けての必須条件：サービスセクターの増大する役割、セッション3：インド太平洋地域におけるSDGsの重要性と役割：SDGs達成のための戦略、と3つのセッションを設け、その中で、①保護主義に対抗し、自由貿易、地域経済統合を進める、②IoT、AIなどのデジタル革命への対応と包摂的、かつ持続可能な経済成長への課題などを議論した。

2 予想される事業実施効果

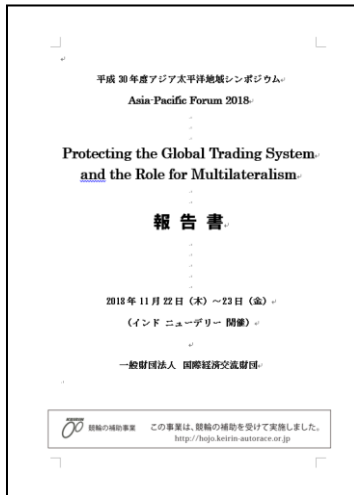
インドにおいて100名規模の公開シンポジウムを開催したことで、聴衆に「自由貿易の継続的な推進」と「地域経済統合」の必要性について理解を深めていただけた。また、討議を通じてアジア太平洋地域の有識家専門家間の共通認識を深め、各国政府の政策形成において影響力を発揮することが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

平成30年度アジア太平洋地域シンポジウム報告書

(URL) https://www.jef.or.jp/APF2018_full_small.pdf



目次	
1. 開催要旨	1
2. 開催概要	2
3. 詳細日程	3
4. 出席者	6
5. 輪 席	7
6. 議 事 要 旨	
日本語	20
英語	28
7. 発表資料	80
8. 若手研究者の参加報告	124
9. 公開シンポジウムアンケート集計概論	131
10. 感 謝	136
11. 共催団体紹介	140
12. 事 務 部	141

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般財団法人国際経済交流財団（コクサイケイザイコウリュウザイダン）

住 所： 〒141-0061

東京都中央区銀座3丁目7-3 銀座オーミビル5階

代 表 者： 会長 日下一正（クサカカズマサ）

担当部署： 業務部

担当者名： 土屋 隆

電話番号： 03-6263-2517

F A X： 03-6263-2513

E-mail： info@jef.or.jp

U R L： <http://www.jef.or.jp>